

# こうふ町 議会だより



## 江府小学校6年生 議会傍聴

12月定例会	.....2P
いっぱん質問 町政を問う	.....4P
所管事務調査	.....10P
私のひと言	.....14P

# 12月定例会

一般会計 1,510万円増額

予算総額 34億7,807万円に

平成27年12月定例会を9日に召集し、会期を15日までの7日間と定めて開いた。

今回の定例会には、平成27年度の一般会計補正予算と特別会計補正予算、条例改正など23議案と空席となっていた教育長の任命が提出された。

議会ではこれらについて慎重に審議した結果、いずれも原案どおり可決し、1月1日より教育長には元総務課長影山久志氏の就任が決まった。

10日の本会議では3名の議員が一般質問に立ち、活発な議論を展開した。



俣野第2共同水道ボーリング作業

## 補正予算

### 一般会計

#### 主な内容

##### ●総務費

施設整備工事請負費

291万円増額

旧米沢小学校防災無線等の移転工事費。

商品発送作業委託料

124万円増額

ふるさと納税の寄付が大幅に増加した為、この記念品発送の費用。

##### ●農林水産業費

有害鳥獣駆除事業費

453万円増額

柿原地区のイノシシの防護柵設置費用。



ふるさと応援基金のPRビデオ

機構集積協力金

588万円増額

地域が農地中間管理機構を通して担い手に農地を集積した場合、面積に応じて、地域に

出る協力金

(宮市地区他)

●土木費

道路修繕工事

280万円増額

洲河崎橋の照明を改修するもの。

●災害復旧費

農業用施設災害復旧費

233万円増額

柿原地区の水路改修工事費。

●諸支出金

ふるさと応援基金積立

399万円増額

ふるさと納税の寄付金が増えた為基金積立するもの。

## 特別会計

### 主な内容

●介護保険事業

(保険事業勘定)

1,834万円減額

今年、春に行われた国の診療報酬引き下げにより、歳入・歳出とも減額となったもの。

●簡易水道事業

665万円増額

第2共同水道（俣野地区）の新しい水源の為にボーリング費用（355万円）と江尾

水道の漏水修理費（310万円）。

●神奈川財産区

310万円増額

中国電力の高圧線鉄塔周辺（俣野長塔・洲河崎後山）の立木伐採に伴う補償費。

## 条例改正

▼教育長職務代行の報酬規定が無かった為報酬額を月額15万円と規定した。

▼マイナンバー制度に伴う個人情報等の保護・運用を定める為の条例改正が行われた。

## その他

▼教育長の任命

任期満了により欠員となっていた教育長について全員一致で承認した。

新教育長 影山久志

任期 平成28年1月1日から平成31年8月31日迄。

▼江尾診療所レントゲン画像管理システム購入契約

1,048万円

平成17年購入した現在のシステムが老朽化したため、修理費がかさみ又、より高度の画像診断ができるように更新するもの。

▼議員発議による規則改定

・議会会議規則第2条 欠席の届け出  
・議会傍聴規則第7条 傍聴に入ることができない者の変更

▼公民館等の指定管理を、再度行うため7件それぞれ指定した。

# 一般質問

# 町政ここを問う

一般質問は3人の議員が行い、町長の方針をたどした



三輪 英男

## 活性化の キーポイントは

るの妊娠中、子育てに関  
する健康や悩み、関係機  
関の紹介や育児に関する  
相談、検診、行政手続き  
など総合的にサービスを  
行う体制が整っているこ  
思っております。

問	農業公社の抜本的改善について
答	総合的に検討して効率的な手法で

ですが、当然、農業委員会と連携し、又、地域振興協会は、定款の中に農作業受託と、幅広い仕事が可能ですので、農業振興に寄与することによって

問	「日本版ネウボラ」の設置について
答	福祉事務所の対応で十分可能

「ネウボラ」とは

フィンランド語で「アドバイスの場所」を意味します。言い換えれば出会いかから子育てへの包括的支援です。

問	協力隊の新たな事業展開について
答	農業部門について活性化に努める

江府町では、地域少子化対策強化事業実施計画の中で次のようにあげてあります。当町では子育て支援の各施策を展開してきたが、結婚・出産・子育ての切れ目のない支援、特に結婚や子育て情報や施策の広報が十分ではなかったとうたっております。

### 町長答弁

農業班については、正直言って厳しいところがあるのではないかと思っております。農業法人やチャレンジ農法に取り組んでいただいておりますが、思いと食い違う部分があり、農業生産という部分での収入をいかに増やしていくか、定着を目指すために行政としての支援を考えています。

### 町長答弁

農業委員会の視察報告書、および議会の行政視察で参考になった、諸塚村の積極的な農業に取り組む姿勢を江府町の奥大山農業公社に活かして頂きたいが、現状と今後の対応について伺う。

中山間における小規模農家が多い為、農業公社が黒字転換という方向性を模索しながら、先進地を参考に、協議する必要があるかと思いま

す。経営的な部分も大切



議会による農業公社の調査

### 町長答弁

福祉保健課は保健、医療が一体となって業務を行っております。「日本版ネウボラ」でいうところ

の状況で設置について伺う。

# 町長の進退について



竹茂 幹根

**問** 竹内町長の進退を問う時間をいただきたい

**答** 時間をいただきたい

**質問** 竹内町長の3期12年の任期が、7月に迫っているが、私は首長の多選は、問題があると思っっている。そのことについて町長の考えを伺いたい。

**町長答弁**

多選については、各々の地域の有権者なり、首長、またその支持者によって考えが違つと思ひます。私自身の3期といつ回数、一般に言うところの多選には当たらないといふ風に思つています。また進退についてはできれば十分に時間をいた

だいて、熟慮した上で、明らかにしなければなりません。今現在を思つて

**質問** 任期があと数ヶ月となつたわけですから、住民に対してこの際に進退を明確にすべきと思つ

が何う。

**町長答弁**

私は私の考えで竹内として考えてまいりたい。

**問** 大河原の山林の買入れについて

**答** 議会の承認を得ている

**質問** 大河原の山林購入について、大建工業の金額については、13円/m、

さかやは130円/mですが、私は、さかやの金額は市場価格と照らして問題であると考えています。町長の見解を伺います。

**町長答弁**

自然環境の保全も町の責務と考えたので、契約をしました。

単価については、大建工業は、固定資産税評価額で評価基準に対し24倍

したものが税務署の査定の評価額で大河原の山林は13円/mとなり、約70haを817万円で購入契約を結んだ。

さかやについては、先方より公共価格の定める310円もしくは、200円台での提案であったが、交渉の結果、130円/mで約7haで817万円の契約を結んだ。

**質問** 市場価格により価格交渉をすべきと考える。町長は、さかやとの件について契約及び価格の見直しをする意志があるか何う。

**町長答弁**

見直すつもりはありません。また、福祉施設をつくることではなく、将来まで、町の自然豊かな環境を残すことが住民の福祉であると考えている。

**質問**

町長の考えは解りました。しかし私が主張したいことは、社会一般としては、町有林として

購入するというのは、市場状況から破格の好条件であると考え、さかやの130円/mは、住民の理解が得られるか疑問であり、町長の考えを伺う。

**町長答弁**

竹茂議員は、竹茂議員の理論があると思います。ただ、私はこれで問題ないと考えています。



執務中の竹内町長

# 職員に対する指導教育は



三好 晋也

<b>問</b>	<b>職員に対する指導教育は</b>
<b>答</b>	<b>研修報告会を実施した</b>

ん。職員が明るく元気で生き生きと働く姿を是非見たいものです。町長の所見を伺う。

**町長答弁**

かねてからいろいろ指摘もありました。住民の皆さんに認められ、喜んでいただける役場職員の対応は当然です。覆面調査については日野郡連携で日野郡の行政職員の講演会を開催した際、講師の先生が事前に各町の現状を見られてのことだったと思つ。町では早速6月に研修を受けた職員により報告会を開催した。そして、お互いに認識しながら改善に向けて努力してきております。最近はおかげさまで窓口対応がよくなったという声も

**質問** 住民の声として、以前から役場を訪れた際、職員の挨拶が出来ていない態度が悪い等の苦情をよく耳にしていたが、今年本町に覆面調査が入りその評価が悪いものだったと議会において報告がありました。

その後、職場内でのどのような指導、教育をされたか伺いたい。そして、小さくても元気で明るい輝きのある町、江府町とはまず役場職員から、もちろん議員も同様ですが率先垂範しなければなりません。

多数耳にすることがあります。喜んでいきます。

職員も今、来客があれば起立をして挨拶するようになっている。まだ十分ではないと思うが今後指導しながら管理職も含めみんなで明るい職場、

まずは、その結果が住民の皆様へも明るく対応できるといい。また、

もしお気づきの点があれば普段からその担当のところへ行つて、「こうだったぞ」「こんな意見があったぞ」と注意して頂ければありがたいと考えています。

**質問**

民間企業の店舗では接客対応技術の向上と定着化を図るために、近年ミステリーショッピングというところを行っている会社があります。接客対応のやり方を他業種や他店舗に実際客として出かけた際、この店の対応はどうか、挨拶の仕方はどうか、良し悪しを体験し、職場において定期的に報告会を実施し、横展開しながら接客対応技術の向

上を図り、定着化していきやいかたです。また、店頭において、フロアマネージャーを置いて来店客の誘導や説明等をする方法もある。是非、試していただきたい。

**町長答弁**

自身の経験なり提案を

頂いた。いろいろな提案をして頂ければ、私も取り入れるところはしっかりと取り入れながら住民の皆さんに信頼し、喜んでいただける行政マンにならなくてはいいかなと思う。



江府町役場窓口風景

# 江府町

## 自治功労者表彰

12月9日、江府町議会議員として22年以上在籍し功労のあつた者として長岡邦一議員が受賞。



長岡邦一氏

# 江府町教育長に

## 影山久志氏

任期満了により欠員となつていた江府町教育長に影山久志氏が任命され全員一致で議会が同意した。



影山久志氏

## 陳情の審査結果

提出のあつた陳情は、12月定例会で審査した結果、次の様に決定した。

件名	提出者	理由	審議結果
集团的自衛権行使を具体化する「安全保障関連法案」に反対するよう求める陳情	憲法改悪反対鳥取県共同センター 代表 田中 暁	戦後70年を経過して、日本近海の資源確保の激化はもとより、国際情勢の激変により、自国を守る手段としての「安全保障関連法案」の必要性が高まったと判断したため。	不採択
外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情	福岡県行橋市 小坪 慎也	国の制度の瑕疵により、担税力・生活実態にそぐわない形で、課税の不公平が生じており、厳格に課税される日本人のみの世帯との格差が大きくなっている。	趣旨採択
人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定に関する陳情	在日本大韓国民団鳥取県地方本部 団長 薛 幸夫	ヘイトスピーチを行う団体が繁華街等で拡声器を使って、憎悪を煽る言動は日本の社会問題として、深刻化している。国際社会に於いても問題視されかねないと判断。	採択
「名護市辺野古への新基地建設凍結と地方自治の尊重、国民的議論の推進を日本政府に求める意見書」提出に関する陳情	反核・平和の火リレー 鳥取県実行委員会 実行委員長 田中 修一	沖縄県民の心情を考慮しつつも、現在「行政代執行」をめぐる国と沖縄県が訴訟中でもあり、この推移を見守っている。	継続審査

### 第5回

### 日野病院議会定例会

平成27年11月30日

#### ◎監査員選任

任期満了に伴い金田雅夫氏を再任した。

◎条例の一部改正・病院事業会計補正予算・介護老人保健施設事業会計補正予算等承認した。

### 議員発議3件

◎江府町議会会議規則の一部改正  
議員が出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することが出来る。

◎江府町議会傍聴規則の一部改正  
銃器、棒その他人に危害を加え、又迷惑を及ぼすおそれのある物を携帯している者は、傍聴席に入ることが出来ない。

(杖については削除したもの)

◎人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定に関する意見書提出。(陳情採択したことによる)

# 地方行政調査報告

平成27年10月13日～15日

## 熊本県 南小国町

### 熱意を持つその仕組みが大切

#### 〔概要〕

南小国町は熊本市から西に車で1時間半の山あいに位置し、面積116km<sup>2</sup>、人口4,300人余りの町である。全国的に知られた黒川温泉をはじめとし、小国町を合わせると8カ所の温泉地があり、多くの観光客が訪れている。

#### 〔観光の取り組み〕

南小国町は、江戸時代から宿場町として栄えていたが次第にさびれ、昭和56年当時は旅館数14軒で、宿泊客は増えず停滞していた。昭和61年、世代交代した若い後継者たちが生き残りをかけ観光振興を考え、露天風呂を作りこれが人気となった。その際、露店風呂を持たない2軒の旅館をどうするか考え「共生」の考え方を根本にし、「入湯手形」により他

### の旅館の露店風呂を利用する方式が生まれた。

初年度は6千枚を発行した。一枚1200円で400円のシールが3枚貼ってあり250円は旅館の収入とし150円は組合の手数料とした。

この「入湯手形」は、大当たりし平成23年には240万枚を販売した。その年の旅館組合

に入る手数料は1億8千万円に達した。

又、湯治場をイメージし自分たちで毎年植樹を行う・共同看板の設置・旅館の下駄の統一・日曜朝市の開始・CM開始・時代行列や色々なコンサートの開催など多くの施策がなされている。

現在、29軒の旅館と30軒の商店があり400人がそこで働いている。外国の観光客も多く、年間の観光客は、90万人を超え観光収入



黒川温泉を視察

は80億円となっている。今後の課題は、「地域が引き継いでいくものを守り、又そのための地域独自の人材育成」と伺った。今までは、自主独立というスタンスであったが、今は行政と歩調を合わせ、地域づくりのための観光産業に取り組みとの事であった。

#### 〔考察〕

##### (1) 観光の取り組みについて

黒川温泉旅館組合代表理事 北里有紀さんは300年続く「御客屋」の7代目女将として、30代の若さで黒川温泉を引っ張っていくその熱意を感じさせた。

どうしたら生き残れるのか、その中で「共生」という考えが生まれる大きな力となって黒川温泉を変貌させている。他の旅館もそう大きなものはなく皆が同じ視線で力を合わせる事が出来、その中で「入湯手形」という大ヒットを生んだと思わ

れた。

「入湯手形」はすべての旅館に利益が回り、組合、温泉通りにある商店、それを作る地域の老人会など多くの住民にメリットを与えその結果、また次の展開をみながら取り組み、まことにうまい仕組みと感心させられた。

高橋町長は、42歳で今年の統一選で圧倒的多数で当選した方で、元商工会青年部部长でコンビニを経営されており又、議長は商店主であり元商工会長で町長の青年部時代の大先輩という事でした。

今回の視察から、組織が機能することの重要性を強く感じた。本気で、本音で切磋琢磨出来る組織を作りそこで語り合えば、その中から何か出てくると感じた。北里理事長、高橋町長を見ると、熱意に勝る能力はないと思うと同時に、江府町でもこの熱意を持つその仕組みが必要と考える。

# 宮崎県 諸塚村

## 仕組みや組織を確立すべき

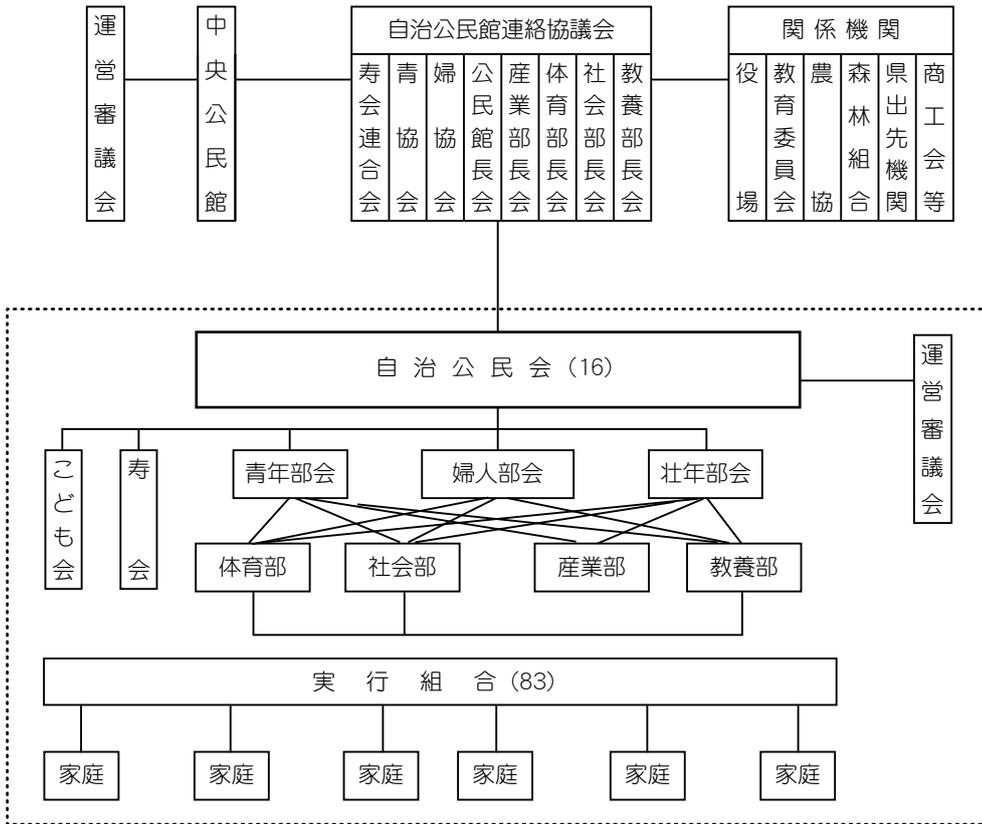
### 「概要」

諸塚村は、九州山脈の中に位置し、1,000m級の山に囲まれた88の集落が点在する村で、宮崎市まで車で1時間半の山村である。面積は187km<sup>2</sup>、平地面積は1.7%

はわずかその1%という厳しい環境にある。

昭和30年代には、人口8,000人いたが、昭和50年代には3,000人台となり平成27年現在は1,734人、高齢化率は41%と過疎

# 「諸塚村自治公民館機構図」



高齢化に直面している。「活性化の取り組み」

明治40年に村是を制定し「林業を旨とする」ことを宣言し、当時から林業立村を目指してきた。昭和32年、村は四大基幹産業として林業・しいたけ・お茶・和牛を定め、相互に補完しながら生産に励む家族型の複合経営農林業を推進した。

平成2年、「村是である林業を守り又、地元に残る山の職員に役場職員並みの給与を与えたい」という、当時の町長の強い思いから諸塚村・諸塚村森林組合・日向農協の3者により「ウッドピア諸塚」が設立され、従業員28名で平成24年度の総売上高は1億5千万円となっている。

諸塚村の行政の大きな特徴は、村民との密接な結びつきである。村内に点在する88の集落を16の自治公民館に組織し、産業、教育、福祉などの課題に、高

齢者、婦人、青年などが係わり地域づくりに取り組んでいる。村民総参加による自治公民館活動は、「諸塚方式」と呼ばれ、図にある全村をあげての組織を作り、毎月15日には連絡協議会、関係機関が会合を持ち、事業を進めている。

その成果は、村税の完納66年連続や選挙投票率県下常に1・2位などや、村民による道路の維持管理・文化・スポーツ活動など行政と村民が一体となった自治の在り方として高く評価されている。

【考察】  
(2)地域活性化の取り組みについて

諸塚村は、江府町の25年後2040年の推計である人口1,800人に近い数字であり、その時の町の状況を肌で感じる事が出来た。村はここで暮らす人の為に手厚い支援を行っている。例えば、林業で生きるための大

きな投資や助成・平地がないため山を削り借家を立て、家賃1万5千円で提供・点在する集落のため3つの小学校の維持と通学支援・山仕事の端境期のための園芸ハウスの建設(約10億円)等この町に残る為ならあらゆる方策をとるといような姿勢を感じた。その際、自治公民館組織を使い村民の理解を得て行うので、同意が得やすいとの事だった。

今後、町民参加で作った「まち・ひと・しごと創生戦略」に沿って、まちづくりを進めるわけであるが、その際最も重要なのは、常に住民と接し住民のニーズを的確に把握し施策に反映するかが重要であり、その為の仕組みや組織をきちんと確立すべきだと強く感じた。

（9）平成28年2月12日発行

# 総務経済常任委員会

調査日 平成27年11月12日

## 株サントリー

第2期増設事業計画は着工2016年3月予定、竣工2017年春の予定。投資額約88億円である。

また、生産可能商品は、サントリー奥大山の天然水・スパークリングウォーター・フレーバーウォーターであり、生産能力は年間1000万ケース。

職員の募集状況については、第一次募集定員4名に対して、現在55名の応募があり、最終的には20名の募集が見込まれている。

### (考察)

市民農園カサラファームとのコラボ、又、江府町に情報提供し、江府町に住んでいることによるお互いのメリットを共有するほか、サントリー新聞の発行など広報活動をお願いしたい。又、今後とも今以上の職員の地元採用を要望する。

日本通運の職員募集にたいしては、労働、職場環境を十分に説明されきめ細やかな、情報提供をして頂きたい。

## 市民農園カサラファーム

地域おこし協力隊員生田さんが農園の運営管理をされることになりました。自活に向けて関係機関等との協調・認識の共有が大切であり、本人の一押しでの有機農業・農法を実践して行かれるためには、地域・集落等とのコミュニケーションが欠かせないポイントと思われます。

## 奥大山農業公社

高齢化、担い手不足等により営農困難な農家の作業を受託し、併せて農地を集積することにより、農地の保全と効率的な農業経営を図るとともに、自らが農地を借り受けて営農し江府町の農地の保全につとめている。本年より新たに取組まれる「果樹・新甘泉」の収穫が早急に実現できるように鋭意努力されたい。コンバインの収穫は過去の経験を活かし積極的に対応されたい。コンバイン等の農機具購入にあたっては必要に応じて補助されたい。

## 下蚊屋発電所（小水力）

### 「概要」

#### 施設管理者

大山山麓地区土地改良区連合

(米子市・江府町・伯耆町・大山町)

最大出力 197kW

年間発電可能量

(約430世帯相当)

耐用年数 20年

運用開始 平成27年7月

総事業費 約3億4300万円

年間売電総金額 約5千万円

内、積立金 約3千万円

配分金 約2千万円

(江府町への配分金 約25万円)

下蚊屋ダムは、自然の力を利用した、クリーンなエネルギーで大山を取り巻く江府町から大山町までの畑



下蚊屋水力発電所

地灌漑が目的ですが、ダムからの河川維持放流水を利用して発電を行うのが下蚊屋発電所です。28年度以降発生する固定資産税の歳入分を町政に活かされたい。

## 道の駅「奥大山」

### 7ヶ月経過の状況について

#### 「マルシエ館」

総売上 5,320万円

来客数 131,600人

#### 「みちくさ館」

総売上 1,610万円

来客数 71,400人

道の駅「奥大山」のオープンから半年ほど経過した現状は、当初の計画に近い業績を上げておられ、関係者の努力による賜ものと思われます。特に、みちくさ館におきましては、道の駅完成による相乗効果、惣菜など新商品の提供により、前年同期との対比で約40%の売上増につながった。

#### 「今後の課題として」

◎監視カメラをはじめとしたセキュリティ対策を万全に行うこと。

◎道の駅として、食べるものでアピール性の高いものを提供できること。

◎冬季中のスキー客の為に案内看板の充実を図られたい。

◎来年オープンする日南町の道の駅と協力体制を構築されたい。

# 教育民生常任委員会

調査日 平成27年11月5日

## 江府中学校

### 今後の生徒数の推移

平成27年全生徒数は61名であるが平成31年度から60名を割り込み10年後の平成37年度は41名と大幅な減少が予測される。

#### (考察)

学習補充の日を決めていることにより成果が上がっているので継続されたい。

街灯の増設や登下校時の歩道の除雪等安全な通学路の確保をされたい。部活については生徒数も減っているのので他校と一緒にするのでも一案である。

## 子供の国保育園

### 今後の子供の数の予測

平成27年度は町内児

童数90名で園児数は平成27年11月現在71名で(内、広域入所3名)である。

#### (考察)

年齢別発達過程においてそれぞれ特徴を生かしながら町内地域と交流し、人間関係、食育等きめ細やかな配慮をされて生きる力を育てられたい。

施設が老朽化しているので早急に改修を検討されたい。保育園の人的体制を整えられたい。

## 江府小学校

### 今後の児童数の予測

平成27年度児童数100名、来年度入学予定者19名、全校児童数98名、(1月転入含む)29年以降はやや減

少傾向で平成31年は80名と予想される。

#### (考察)

プール施設が設置から42年経過し、老朽化がかなり進んでいる。児童の安全確保の上からも早急に対応を図りたい。給食センター移転後のスペースを多目的教室として整備されたい。

## 社会福祉法人 尚仁福祉会

平成26年度の鳥取県

社会福祉法人監査における改善命令後、尚仁福祉会と名称を変更し、社会福祉法人としてあるべき姿に邁進しようと考えている。介護保険サービスマニヤ事業については平成28年度から介護老人保健施設「あやめ」の指定管理受託運営を行う。

地域の福祉やまちづくりに関する集まりイベント等へ今後も積極的に参加されたい。

#### (考察)

地域の福祉やまちづくりに関する集まりイベント等へ今後も積極的に参加されたい。



江府小学校にて

## 社会福祉協議会

移転後の状況は町中サロンとして開放部分の認知度は上がってきており利用者が増えてきている。ケアマネージャー、ヘルパーの尚仁福祉会への移行について、利用者から不安の声が上がっている。

#### (考察)

ケアマネージャー、ヘルパーの尚仁福祉会への移行については、利用者から予想以上の不安や疑問が多数寄せられている。町も利用者に周知することが必要と考える。また、事故やトラブルにならないよう新旧の担当者の訪問による引き継ぎも検討されたい。

リハビリテーションの充実などが計画されている。

#### (考察)

昨年度は5000万円の赤字決算となったが、新しい施設長を迎え本来の老健施設の役割を果たすべく施設での看取・要介護度の高い方も積極的に受け入れ、経営も安定の方向に向かっている。今後も新しい竹茂施設長のもと、一丸となって努力されたい。

## 江尾診療所

医科の診療報酬、レプト件数ともに減少傾向にある。

歯科は診療報酬、レプト件数ともに増加傾向にある。

#### (考察)

歯科口腔外科は12年経過し設備も老朽化しているため検討されたい。武地医師の負担軽減と医師二人体制を早急に確立されたい。

## 介護老人福祉施設 あやめ

事業計画として、利用者の確保により安定した経営基盤を確立する。サービスの質の向上、

# 議 長 報 告

## 鳥取県町村議会議長行政調査報告

ながよ おぢか  
長崎県長与町議会・小値賀町議会

今年度初めて県下15町村議会議長が行政調査を行い「県内の議会の取り組み」と課題について、意見交換し信頼関係が築かれた。

調査期間：平成27年11月25日から27日（2泊3日）

◎長崎県長与町：長与町議会

- 議会活性化の取り組みについて
  - ・議会基本条例を具体化する各種要綱等の制定について。
  - ・議会のネットによるライブ中継の状況
  - ・現状の課題について意見交換を交え研修した。

◎長崎県小値賀町（五島列島の北部の町）

- 議会活性化の取り組みについて
  - ・通年議会・子供議会等、議会活性化の取り組み
  - ・議会からの政策提案の取り組み
  - ・現状における課題について意見交換のなかで、離島という現状で緊急医療・物流の滞り等課題山積である。

## 第59回町村議会議長全国大会

2015. 11. 11 / 東京・NHKホール

〈地方創生の実現を目指して〉

第59回町村議会議長全国大会を衆参両院議員をはじめ、特別来賓として、石破茂地方創生担当大臣など迎え開催された。

◎東日本大震災被災町村に対する継続的な財政支援。

◎地方創生の実現に有効的な制度設計及び財政措置。

◎農村漁村が維持発展するための万全なTPP対策。

◎分権社会に対し得る議会権能の強化。  
◎我々町村議会も議会改革に努め住民の信託に応えられる議会を構築していく決意を採択した。

## 第46回

## 全国過疎地域自立促進連盟定期総会

平成27年11月13日 メルパルク

島根県知事 溝口善兵衛氏が会長を務める全

国過疎地域自立促進連盟定期総会を東京メルパルクで開催し、衆参両院議員を来賓に迎え、過疎対策関係政府予算、施策について全員一致で承認した。

## 第40回豪雪地帯町村議会議長全国大会

豪雪地帯対策特別措置法の趣旨に沿って円滑な産業活動や安全な生活実現に豪雪対策の展開を宣言した。

## 平成27年度 第4回鳥取県西部広域行政管理組合議会

平成27年10月23日

◎平成26年度一般会計の決算認定を監査委員の意見書を付し、決算特別委員会で審議する事に決する。

## 決算審査特別委員会（平成27年12月24日）

- ◎市町村負担金内訳・国県補助事業状況・入札随契状況・財産・基金・物品の状況・地方債の状況について慎重審議し平成26年度決算を承認する。
- ・予算現額68億4,400万円に対して決算額68億5,000万円予算額に対して600万円増加となっている。
- ※主な要因：再生有用物売払収入の実績増、火葬場使用料及び危険物手数料の実績増によるものです。

## 平成27年度 第2回鳥取県後期高齢者医療広域連合議会

平成27年11月16日（湯梨浜町）

- 平成26年度一般会計を含め9議案上程され、すべて承認された。
- ・税外収入金の督促手数料及び延滞金の徴収は、滞納2,000円以上で年14.6%の利率に変更された。
  - ・一般会計収入済額：4,560万円  
支出済額：4,250万円  
差引残高：310万円

## 岡山米子線

（蒜山～米子IC間）

4車線化促進期成同盟会

平成27年11月15日

岡山～蒜山間は平成23年に完成している。岡山県と鳥取県を結ぶ重要幹線道路蒜山米子間の4車線化を計画的かつ着実に推進するよう強く求めることを決議する総決起大会がおこなわれた。

# 江府町の将来を 支えてくれる皆さんが 傍聴席にいっぱい

江府小学校の6年生が社会で役場等の行政の取り組み、議会の取り組み、税金といったことについて学習している。12月議会が開催中であり「百聞は一見に如かず」ということで議会の方へ傍聴依頼がありました。議長は快く依頼を受け議長の許可で議場の様子等の写真撮影や傍聴定員20名の規定緩和をし、傍聴していただいた。議会の一般質問では議員と町長のやり取りは小学生にとって、少し難しい内容かなと感じましたが、子どもたちは熱心にメモをとって、こういった質問をしているのかを聞いておりました。1時間ほどの短い時間ではありましたが、その姿は真剣に学習されている様子がなんとも微笑ましい感じでありました。後日、担任の先生が学級通信の中で次のような感想を話しておられます。また、子どもたちの議会見学をしての感想も寄せられておりますので、紹介いたします。

## 〔担任の先生より〕

子どもたちにとっては、初めての体験であり新鮮に映ったようであります。また、それぞれの質問も、ただ聞くだけでなく、自分で調べてきたことなども加えて質問されていることに驚いた子どもたちもいました。町長さんの答弁も含め、江府町の発展について議員のみなさんも行政

のみなさんも一生懸命考えておられる様子を肌で感じた傍聴でした。

## 〔子どもたちより〕

◎今日、社会科の見学として、議会の見学に行きました。ほくも将来このような場に立ちたいと思いました。中には知らない人達もいたけど、農業公社、子育てセンターなどの話をされていて、とても難しかったです。

◎今日、議会見学に行きました。入った時、裁判所かと思いました。初めて議場に行って、女性の議員がいてすごいなと思いました。三輪議員さんと町長さんの言い合い

がおもしろかったです。

◎今日、2時間目に議会を見学しました。ほくも、その場に立って、江府町をよくしていこうと思います。

◎わたしは最初、議会見学って何？と思いました。どこにあるかもわかりませんでした。でも行ってみて、すごく大人の人の会議だなと思いました。質問に意見を出し合っていてすごいなあと感じました。

◎今日、議会見学に行きました。難しいような言葉を使っていて大変そうでした。特例で全員見学できてよかったです。



書道の授業風景（江府小6年生）

# ひとこと



遠藤 真吾

「さあいこうぜ。切り替えていこうぜ。」

まいどお世話になつとります。久連出身の32歳イノシシ年・遠藤です。僕は約10年間、大阪でロックスターを目指して活動していましたが、都会の生活に嫌気がさした2013年にUターンしました。「これからは田舎でのんびり音楽をしよう」と思っていました。とりあえず就いた仕事は役場の奥大山まちづくり推進課同級生の大岩君をはじめ、個人的なメンパーと楽しく仕事をしました。そのおかげで全く興味のなかった「まちづくり」という仕事が面白くなってきました。自分の住む町を自分で作る。こんな面白いことはない。そして江府町という町は良質な観光素材をたくさん持っていることに気が付きました。

さらに、このまま人口が減っていくと町がなくなることにも気が付きました。最初は「みんな町がどうなるのが気にしてないだろ」と思っていました。いろいろな人と仲良くなるうちに、みんな町を変えたがっていることがわかりました。変えるという行動はめちゃくちゃエネルギーが必要でしんどい。今より悪くなるかもしれない。でもこのまま何もせず眺めとくのはカッコ悪いなと思われ、頼もしい仲間達と奮闘することにしました。今年2015年の10月から江府町観光協会の職員になりました。町をPRするには最高の職業です。職員になつて変わったのは、みんながアイデアをくれるようになったことです。「エンドーくん、こんなやりたいたいんだけど、できる？」アイデアは金では買えない。ありがたいことです。僕はそれを実行に移していきます。何が当たるかわからない世の中です。やらね。やってみなきゃあ。僕ら若いもんが元気出してなんぼでしょう。若い連中のケツを叩いて仲間を増やしたい。自分の住む町だぞ。楽しいほうがいいだろ。と言いたいです。「エンドーくんは何でもやります！」をモットーにして、江府町を地元から盛り上げていきたいと思えます。

## 江府町で生まれ育つて



吉田 優子

昨年3月から江尾郵便局に勤務しています。私が窓口で座っていて、少し間をおいてから、気づいてくださる方も時々いらつしやいます。前職を退職後、職業訓練校に通い、その後就職活動中に良いご縁がありました。できるだけ自宅から近いところで就職したいと思っていた私にとつてはとて嬉しく願つてもないお話でした。しかしながら、初めての職種で覚えることも多く、はじめのうちは不安だらけでした。今でもまだまだ勉強中ですが、仕事にも慣れて、お客様とのやりとりを楽しく感じながら働いています。先月職業訓練時代の友達に会いました。彼女も良い就職先がみつかり、私と同じように勉強することがたくさんあると話していました。それを聞いて改めて頑張ろうと思つているところです。

私が江府町で生まれ、関東の短大へ進学後、実家に戻り、地元の民間企業に就職しました。当時、江府町に戻りたいと強く思っていたわけではなく、なんとなく故郷に帰ることが当たり前のような気がしていたのですが、今となってはその選択が良かったのだと思います。10年前に福岡県出身の夫と結婚後、約半年間米子に住んでいましたが、夫の希望もあり江府町に戻ってきました。現在は実家から徒歩10分の場所に住んでいます。職場も実家も近く、とても良い環境です。江府町に住むことを決めてくれた夫には本当に感謝しています。おかげで未だに親離れができていません。今の私達家族の楽しみはスキーです。小学1年生の娘は保育園の年中からスキーをはじめました。私も娘と同じ頃から父に教えてもらい、中学まで競技スキーをしていました。夫も楽しめる程度に滑ることができそうです。奥大山スキー場はそんな私達にとつて、最高の場所です。残念ながら今シーズンには雪に恵まれませんが、滑走できる程の雪が早く積もることを心待ちにしています。先日夫が娘にこんな話をしていました。「お父さんは、小学校に入る前にぜんそくになって（工業地帯で空気の悪い環境で育つたため）、入院して入学式にも出られなかった。だからさやちゃん（娘）の子供は空気のきれいな江府町で育ててあげて。」と。それを聞いてとても嬉しい気持ちになりました。江府町は小さな町ですが、自然の豊かな素晴らしいところだと思います。こんな素敵な町を、私の娘も含めこれからの若い方々に守つて欲しいと思えます。



新しい年を迎え、昨年を振り返ると、江府町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定、十七夜物語「天の虫」発刊、地域おこし協力隊9名に増員道の駅「奥大山」オープン等これからの江府町の発展に大いに寄与する事業、話題があった一年だった。今年も町民の皆様が明るく元気で暮らせる様、議会も頑張つていききたいと思えますのでよろしくお願い致します。

三好晋也

### 議会広報調査特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 上原 二郎 |
| 副委員長 | 三好 晋也 |
| 委員   | 川端 雄勇 |
|      | 三輪 英男 |
|      | 川上 富夫 |

### お知らせ

寒波のため延期した住民懇談会は、足元が良くなり、新年度予算を議決した後、4月に改めて実施します。